

地域での取り組み

■田川敬老会

10月1日(土)、田川地域で敬老会が開催されました。子ども達の歌や演技でスタート。第一部の式典・来賓の祝辞に続き、第二部のお楽しみ会では健康体操や創作エイサーで盛り上がりました。地域みんなで高齢者の方方を心からお祝いする優しい気持ちを感じる敬老会でした。



地域で行われた取り組みを紹介するコーナーです。

■野中地域 体育大会

10月2日(日)、第43回体育大会が野中南公園で開催されました。大人から子どもまで地域みんなで元気いっぱいゲームを楽しみ、大変盛り上がっていました。また、中学生ジュニアリーダーや高校生・大学生たちが大人に交じって運営スタッフとして活躍していました。



■十三地域 敬老を祝う会

10月15日(土)「十三地域敬老を祝う会」が行われました。第一部の式典に引き続き、第二部では、顔の見える関係を作れるようにとの思いから、町会ごとにふれあい喫茶方式でテーブルを囲み、温かいコーヒー、紅茶とお茶菓子をいただきながら、演芸を鑑賞しました。最後は、全員でハーモニカの演奏に合わせて「もみじ」を合唱し、楽しいお祝いの会となりました。



■東三国子育てサロン・百歳体操

10月20日(木)、東三国センターで毎月第3木曜日に開催されている子育てサロンを訪問。当日は17組の親子が参加し、子ども達は畳の部屋や廊下を使って思い思いに遊んでいました。また、毎週木曜日には隣の部屋で百歳体操が行われていて、その参加者と子ども・お母さんとの間にほほえましいふれあいも生まれていました。



■子どもの居場所づくり講演会

10月23日(日)に「まちは大きな家族〜集まれば楽しい、強い。こどもは未来〜」と題して、森栗茂一氏(大阪市青少年問題協議会長)により、区内外の事例を踏まえた、講演会が行われました。講演会後は、参加者同士が取組みたいことについて話し合い、具体的な想いを、全体で共有しました。



■新東三国ハロウィン de 防犯

10月30日(土)に「第2回ハロウィン de 防犯」が新東三国小学校で行われました。楽しみながら防犯を学ぶことを目的とした事業で、様々な衣装を着た子ども達が、小学校の教室を回りながら防犯クイズに挑戦。メイクには大阪ビューティアート専門学校の学生にも協力頂きました。最後は、講堂でファッションショーが披露されました。



■三国子どもフェスティバル

10月30日(土)三国子ども会が中心になり、三国子どもフェスティバルが行われ、多くの子ども達で賑わいました。お神輿を担いだ子ども達が商店街を練り歩いた後は、連合子ども会や各種団体が出店した屋台を、大人も子どもと一緒に楽しみました。子ども達を育て、地域の暖かい見守りを感じました。



■西三国文化祭

11月6日(日)、西三国文化祭が西三国センターで、開催されました。楽器演奏やコーラス、絵画や手芸・書画の作品展示、囲碁・将棋大会も行われ、日頃から自分たちで楽しんでいる趣味や特技を披露しあいました。地域の皆さんで和やかに楽しみながら、親睦を深める一日となりました。



■三津屋音楽祭

11月6日(日)に開催された三津屋音楽祭は、商店街の空き店舗や駅前広場、お寺や小学校など10会場で多彩な音楽を楽しめる移動型の音楽祭です。今回は新たな取組みとして交流亭マルシェも同時開催。地域全体で一緒になってたくさんの人たちが音楽に触れ、親しむ一日となりました。



淀川区まちづくりセンター

〒532-8501 大阪市淀川区十三東 2-3-3 淀川区役所 4階
TEL 06-6309-5656 FAX06-6309-5657
mail yodogawa-machikyuu@festa.ocn.ne.jp
HP <http://yodomachi.jimdo.com/>
Facebook <https://www.facebook.com/ymachisen>



編集後記

いよいよ、今年もあと僅かとなりました。何かと忙しくなるこの時期ですが、元気に乗り切っていきたいですね。やり残した事を少しでも片付けていきたいと思います。

淀川まちセン通信



淀川まちセン通信は、淀川区の地域活動協議会に関する情報発信、淀川区まちづくりセンターの活動紹介、多様な地域資源の紹介を目的に、隔月発行しています。

よどまち未来セッション2016



平成28年
11月15日(火)
19:00~21:00

淀川区の地域活動やまちづくりに関心がある皆さんが集まり、意見交換を行う“よどまち未来セッション”。今回は、「地域活動協議会」をテーマに開催し、特徴的な取り組みを行っている港区のNPO 法人南市岡地域活動協議会の松井理事長をお迎えして、お話をお伺いしました。また、その後は、5年目を迎えた地活協のこれまでをワークショップ形式で振り返り、今後について考える時間をもちました。

- ・地域活動協議会形成後の平成26年度にNPO法人化し、平成28年度は、年間予算約2,200万円で運営しています。
- ・通常の補助金事業の他に、大阪市から受託している児童いきいき放課後事業や、広報紙配布事業、広報掲示板管理事業、収益事業として朝市、助成金事業としてサロン事業、その他テーマ型地域福祉事業を実施しています。
- ・今後は、地域食堂(子ども食堂)や配食サービスにも取り組んでいきます。



- ・この地域をどんな地域にしたいのか、その方向性を示し、やるべきことを提案するのが、私たちの役目です。
- ・「こういうものをやりたい」と情報発信を行うことで担い手は出てきます。その場を提供し、雰囲気作りを行っています。
- ・地域福祉をしっかりとやらなければいけない地域。子育てや高齢者など自立しにくいところに手を差し伸べていきます。
- ・子どもは地域の宝です。地域を愛する子どもを地域で守り、育てていくための児童いきいき放課後事業です。
- ・NPO法人の運営は、補助金に依存せず、自由度が高く、楽しくできています。



松井理事長の話は、地域が抱える様々な課題に対し、目的を明確にした上で、多くの人を巻き込みながら具体的に取組まれており、非常に参考になるものでした。また、「この地域をどうい風にしたいく方向性を明確にして道順をつくっていくことが大切」と話していたのが印象的で、参加された皆さんも真剣に聞いていました。

その後の意見交換では「つながり」「担い手」「地域課題」「会計」「組織運営」の5つのポイントで地活協設立からこれまでを振り返り、今後に向けて取り組むことを共有しました。立場や地域を越えた意見交換となり、様々な課題を踏まえ、それぞれの立場で前向きな意見がたくさん出た場となったように思います。

新たな担い手による新たな取組み

地域課題を踏まえ、「こんなことをやってみたい」を実現させる新たな取組みが、新たな担い手により、生まれています。活動資金として、自律的な地域活動を支援する補助金（マッチングファンド）が活用されました。

西三国地域 ハロウィン 仮装行列

10月25日(火)、西三国地域でハロウィン仮装行列が行われました。地域に住むママ友同士が子ども達を楽しませるために始めたこのイベントは、口コミで広がり、12回目の今年は400人以上が参加しました。仮装した子ども達は、十八条西公園から十八条中央公園までのコースを「ハッピーハロウィン！」と挨拶しながら、10か所のスタンプポイントをお菓子ももらいながら回ります。以前仮装行列に参加していた子どもがスタンプ押しを手伝っていたり、自宅前をポイントとして開放するスタッフもいるなど、地域全体でこのイベントを盛り上げていました。

参加者とスタッフが一緒になり、ふれあいが生まれる西三国のハロウィンは、地域のつながりづくりの場として定着してきています。



新高地域 秋まつり

10月30日(日)新高小学校で開催された「秋まつり」は、昨年まで行われていた「ザ・演芸」と「敬老会」の事業を見直し、新たな事業として新高地域活動協議会主催で行われたものです。高齢者が疲れなように来賓セレモニーは省きながらも高齢者をお祝いする事業目的は残し、地域全体で様々な人たちが集い、交流できるプログラムとなっています。

淀川区戦後70年のDVD放映にはじまり、新高幼稚園の遊戯、新高小学校校長先生によるギター演奏、新高小学校音楽隊の演奏、三国中学校吹奏楽部の演奏など、場内は大変盛り上がりしました。高齢者と子ども達が笑顔でふれあう場面もあり、地域内の多様な世代が楽しみ、交流ができる、そんなイベントとなりました。



田川地域 フリー マーケット

11月13日(日)、田川地域で初めてフリーマーケットが開催されました。今年から地域が管理・運営を行うこととなった十三筋高架下広場が会場です。地域の若い担い手の皆さんが中心となり、この広場の認知度を上げることを目的に企画されました。田川地域の在住・在勤者にフリーマーケット出店者を募集し、14組が出店しました。

当日は、初開催にも関わらず約300名の来場者で賑わい、来場者・出店者・運営メンバーが出会い、新たなつながりが生まれる場になりました。早速、第2回の開催を期待する声も聞かれました。

この高架下広場が地域の皆さんに活用されるよう、清掃・草刈りなどの維持管理、管理体制など運営ルールづくりを進めています。



新北野地域 青空 パパキッチン

11月6日(日)、青空パパキッチンが開催されました。新北野地域では、子ども会活動の担い手不足が課題となっています。そこで日頃、地域と関わりの薄い若い世代に、地域活動を理解し参画してもらいたいとの想いから、子ども会を中心にこの事業が企画されました。

今回は、親子で参加してもらい、新北野地域を飛び出して、バスで舞洲スポーツアイランドに向かいました。地域を離れた場所で、子どもの見守りや共同で料理を作る機会を経験してもらうことで、親同士の顔の見える関係や一体感が生まれたように感じました。地域にとって貴重な人材である子育て世代を地域に巻き込むため、目的を明確にした興味深い取組みとなりました。



ゲームで避難所運営の難しさや混乱を体験！

具体的な対策を始めるきっかけに。

10月22日(土)、北中島地域で防災リーダーや地域活動協議会の運営委員の皆さん約60名が「避難所運営ゲーム」(HUG)に取り組みました。

HUGとは、避難所運営者の立場となり、避難者の年齢や性別、国籍やそれぞれが抱える事情が書かれたカードを、避難所にどれだけ適切に配置できるか、また避難所で起こる様々な出来事にどう対応していくかを模擬体験するゲームです。

この日は6班に分かれ、それぞれ避難所の受け付け担当者になったつもりで、次々と読み上げられるカードを適切と思う場所に配置していき、最初は余裕で座っていた人も、判断すべきことが続出し、中盤以降は思わず立ち上



がるなど、次第に熱が入ってきました。今回のHUGを通して、実際に災害が起こった時には思いもよらないことが起こり、避難所が混乱することをイメージしてもらえたのではないのでしょうか。今後、災害発生時に、様々な状況になっても落ち着いて迅速に対応できるよう具体的な対策を始めるきっかけになればと思います。(HUG実施にあたっては、まちづくりセンターも区社協と連携して進行・振り返り等でお手伝いさせていただきました。)



各地域で防災訓練を実施

10月～11月は、多くの地域で防災訓練が実施されました。地域が抱える課題を考慮した特徴ある訓練が実施されています。その一部をご紹介します。



一時避難場所に集合後、小学生と大人と一緒に避難！



様々な条件付与に対応する、避難所運営訓練



地域が主体となった、災害時の対応を考える防災クイズの実施



中学校と地域が連携した防災訓練の開催

地活協ブロック別意見交換会

淀川区を3つのブロックに分け、地域拠点を会場に意見交換を行うブロック別意見交換会。今年度2回目(通算4回目)の開催となる今回は「防災」をテーマに実務者による取り組みの情報提供や意見交換が行われました。

西ブロック

- ・神津 ・新北野
- ・塚本 ・田川
- ・三津屋・加島
- 10月19日(水)
- 田川社会福祉会館



南ブロック

- ・西中島 ・木川
- ・木川南 ・十三
- ・野中
- 11月4日(金)
- 十三小学校



東ブロック

- ・宮原 ・新東三国
- ・東三国・北中島
- ・西三国・三国・新高
- 11月7日(月)
- 宮原地域集会所 老人憩いの家



様々な取り組みが紹介されました。
 ●HUG(避難所運営ゲーム)の活用 ●小学校・中学校との合同訓練
 ●安否確認カードの全世帯活用 ●まち歩きをして地区防災計画策定
 ●企業や防災用品メーカーとの連携 ●小学生の引渡し訓練
 ●町会安全マップの毎年更新 ●クロスロードを活用した防災クイズ



大阪市内の他区での取り組みを紹介するコーナー。第3回は阿倍野区です。地域の住民と新しい人材が融合して開催されるイベントと、新たなアイデアが地域の事業をよりあげている事例をご紹介します。

昭和町で昭和を再現！体験！再発見！ 「どっぶり昭和町」

昭和町で、昭和の日に、昭和を味わうお祭り「どっぶり昭和町」。このイベントの特徴は、生まれも育ちも地元の人と、昭和町が好きで外から越して来た人が、うまく融合しながら企画・運営していること。昭和の遊び体験コーナー、寄席、パレード、紙芝居、音楽ライブなど盛りだくさんの内容です。また、地域の魅力的な場所やお店をより多くの方に知ってもらえるようにと発行が始まったフリーマガジン「すいむすむ」では、積極的に街の魅力を発信しています。



晴明丘地域活動協議会 ハロウィン秋祭りで「ポスターこんくーる」

「春のこどもまつり」「夏の盆踊り」に続く「ハロウィン秋まつり」は、多くの子ども・大人が仮装して参加する一大イベントとして定着しています。今年は「ハロウィン秋まつり」に先駆け「ポスターこんくーる」を実施しました。本番用のデザインアイデアを募集し、各賞を授与したことで、イベントに対する関心が高まり、参加者の拡大につながりました。従来の形にこだわらず常に新しいことに挑戦する気持ちが、より良い事業へとつながっています。

